

# プリンタードライバー設定ツール for リモートデスクトップ操作マニュアル

---

第 3 版

## お客様へのお願い

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容は、将来、予告無く変更される場合がございます。

本書の内容は、万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどでお気づきの点がございましたらご連絡ください。

本ソフトウェアを運用した結果につきましては上記に関わらず一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 商標について

Microsoft, Windows, WindowsServer 2008 R2、Windows 7、Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

## 目次

<b>1.</b>	<b>概要</b>	<b>4</b>
1.1	動作環境	5
1.2	対象プリンタードライバー	6
<b>2.</b>	<b>セットアップ</b>	<b>7</b>
2.1	フォルダー構成	7
2.2	インストール	8
2.2.1	サーバーモジュールのインストール	8
2.2.2	クライアントモジュールのインストール	10
2.3	アンインストール	13
2.3.1	サーバーモジュールのアンインストール	13
2.3.2	クライアントモジュールのアンインストール	17
<b>3.</b>	<b>使用方法</b>	<b>20</b>
3.1	タスクトレイ アイコン	20
3.2	サーバーモジュールの起動・終了	20
3.3	クライアントモジュールの起動・終了	21
3.4	メニュー	21
3.4.1	設定	21
3.4.2	バージョン情報	23
3.4.3	終了	23
3.5	管理者設定画面	24
<b>4.</b>	<b>制限事項</b>	<b>25</b>
4.1	ソフトウェアに関する制限事項	25
4.1.1	プリンタードライバーのバージョン	25
4.1.2	セッションの再接続	25
4.2	プリンタードライバーに関する制限事項	26
4.2.1	オーバーレイ	26
4.2.2	ユーザー設定用紙	27
4.2.3	フォント	28
<b>5.</b>	<b>ログ出力</b>	<b>29</b>
<b>6.</b>	<b>メッセージ一覧</b>	<b>30</b>
6.1	エラーメッセージ一覧	30

# 1. 概要

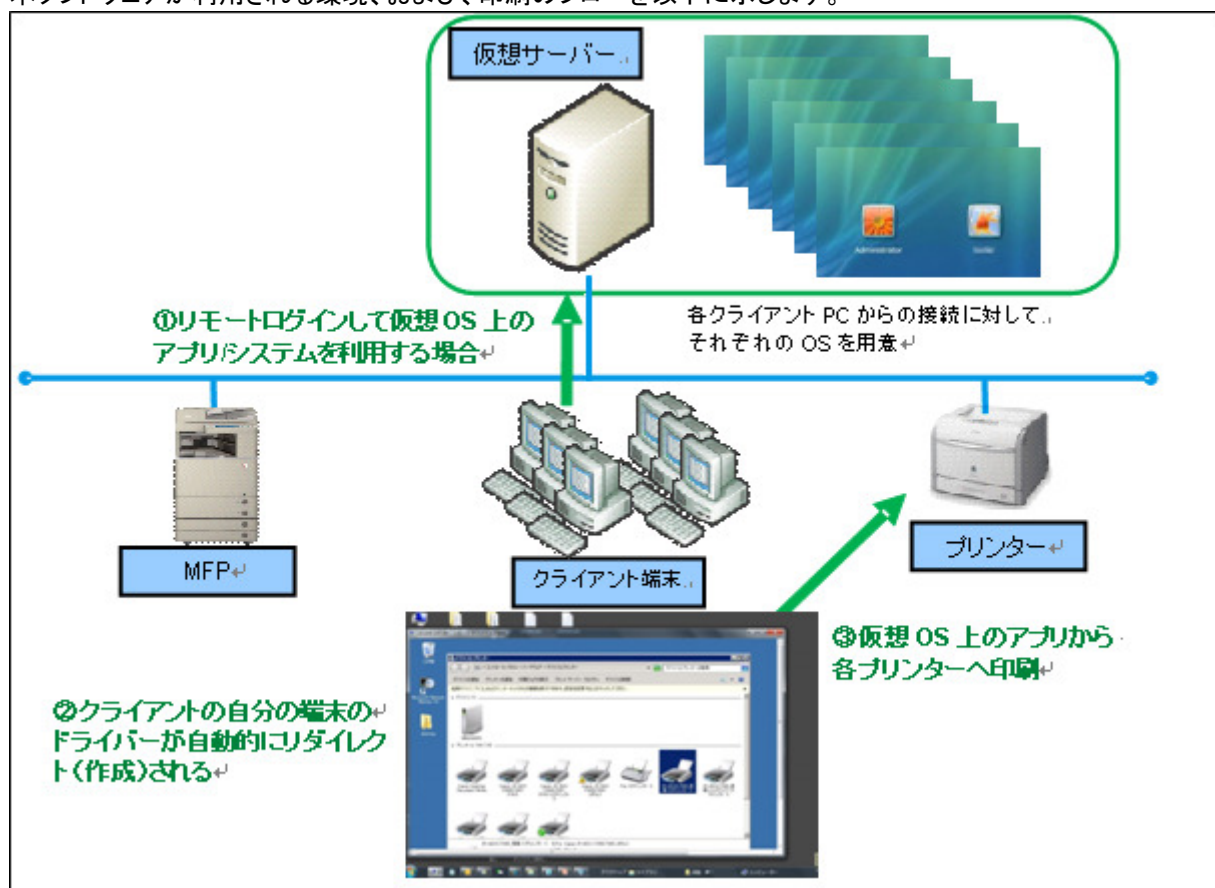
プリンタードライバー設定ツールについて説明します。

本ソフトウェアは、リモートデスクトップ環境にて、「RD Easy Print」を使用しないでクライアント PC からリモート接続を行った際に、サーバー PC でリダイレクトされるプリンター（以降、リダイレクトプリンターと表記）に対して、クライアント PC のプリンター印刷設定およびデバイス設定を自動反映するツールです。

本ソフトウェアを使用しない場合は、クライアント PC のプリンター印刷設定およびデバイス設定は、サーバー PC に反映されません。

本ソフトウェアを使用することで、クライアント PC のプリンター印刷設定およびデバイス設定をサーバー PC のリダイレクトプリンターに設定を反映させることができます。

本ソフトウェアが利用される環境、および、印刷のフローを以下に示します。

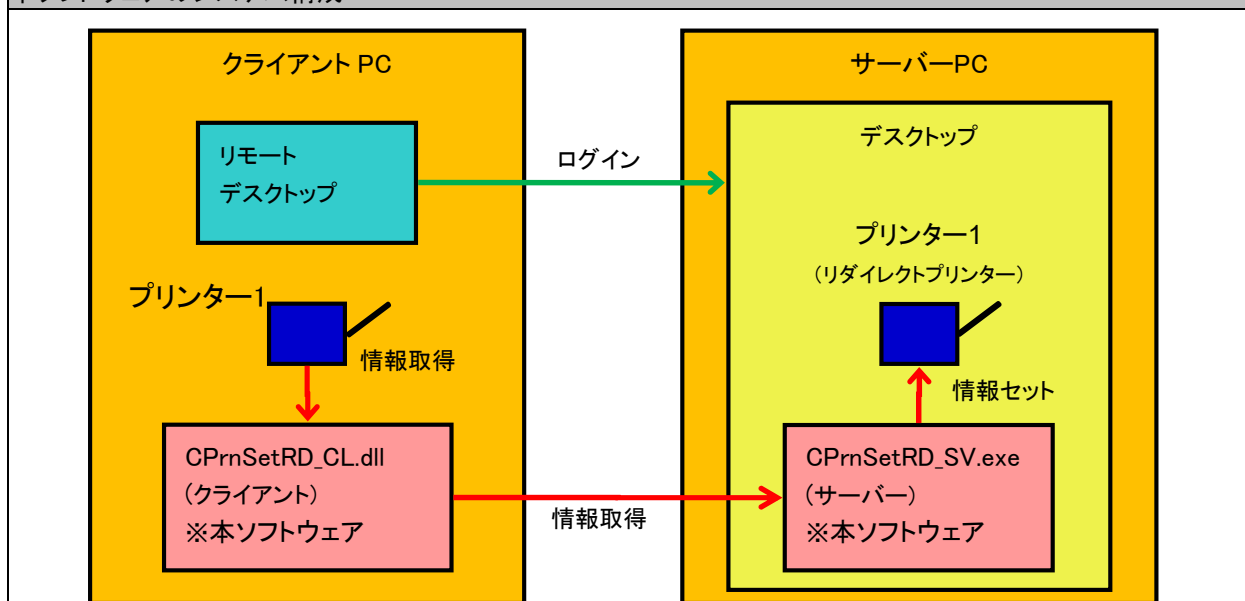


※サーバーにクライアントと同じプリンタードライバーのインストールが必要です。

※プリンタードライバーのバージョンや接続状況によっては設定が反映されない場合があります。本ソフトウェアに関する制限事項については、「[4.1 ソフトウェアに関する制限事項](#)」を参照してください。



## 本ソフトウェアのシステム構成



モジュール名	説明
CPPrnSetRD_SV.exe (サーバー)	サーバー PC で動作します。 スタートアップに登録し、ログイン時に自動的に起動します。 リダイレクトプリンターの生成を検知すると、CPPrnSetRD_CL.dll(クライアント)にクライアントプリンターの情報取得を要求します。 CPPrnSetRD_CL.dll(クライアント)より受け取ったクライアントプリンターの情報をサーバー上に生成されたリダイレクトプリンターに反映します。
CPPrnSetRD_CL.dll (クライアント)	クライアント PC のリモートデスクトップ接続の AddIn として動作します。 CPPrnSetRD_SV.exe(サーバー)よりクライアントプリンターの情報取得要求を受け付けると、クライアントプリンターの情報取得し、CPPrnSetRD_SV.exe(サーバー)に応答を返します。

## 1.1 動作環境

本ソフトウェアの動作環境について、以下に記述します。(何れも日本語版のみの対応となります)

### ● サーバー OS 環境

プラットフォーム: 64bit

製品名	サービスパック
Microsoft Windows Server 2008 R2 (Standard・Enterprise・Datacenter)	SP 無し SP1

### ● クライアント OS 環境

プラットフォーム: 32bit/64bit

製品名	サービスパック / アップデート
Microsoft Windows 7 (Professional・Enterprise・Ultimate)	SP 無し SP1
Microsoft Windows 10 (Professional・Enterprise)	AnniversaryUpdate 無し AnniversaryUpdate 有

## 1.2 対象プリンタードライバー

本ソフトウェアの対象プリンタードライバーは以下の通りです。(何れも日本語版のみの対応となります)

※ 対象プリンタードライバーの制限事項については「[4.2 プリンタードライバーに関する制限事項](#)」を参照してください。

- ・ サーバー(64bit 版のみ対応)

製品名	バージョン
Canon LIPS4 Printer Driver(64bit)	V2x.xx
Canon LIPSLX Printer Driver(64bit)	V2x.xx
Canon GLX Printer Driver(64bit)	V2.xx

- ・ クライアント(32bit/64bit 版に対応)

製品名	バージョン
Canon LIPS4 Printer Driver	V2x.xx
Canon LIPS4 Printer Driver(64bit)	V2x.xx
Canon LIPSLX Printer Driver	V2x.xx
Canon LIPSLX Printer Driver(64bit)	V2x.xx
Canon GLX Printer Driver	V2.xx
Canon GLX Printer Driver(64bit)	V2.xx

※ 「Canon Universal LIPS4 Printer Driver」については対象外となります。

## 2. セットアップ

---

インストールおよびアンインストールについて説明します。

---

### 2.1 フォルダー構成

セットアップフォルダーの構成を説明します。

フォルダー・ファイル名		概要
Root(Installer)		ルートディレクトリ
client		クライアント用 インストールフォルダー
	CPPrnSetRD_CL32_setup.exe	32bit クライアント用 インストーラー
	CPPrnSetRD_CL_setup.exe	64bit クライアント用 インストーラー
server		サーバー用 インストール フォルダー
	CPPrnSetRD_SV_setup.exe	サーバー用 インストーラー

---

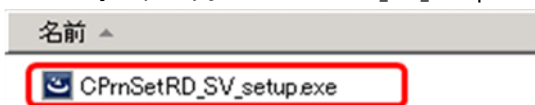
## 2.2 インストール

インストールは、OS の管理者権限が付与されているユーザーで実行してください。  
プリンタードライバーのデバイス設定を反映させるには、ビルトイン Administrator ユーザーの権限が必要となります。  
そのため、ビルトイン Administrator のユーザー名／パスワードが必要になるためご注意ください。  
※ビルトイン Administrator とは、OS が作成する管理者権限が付与されたユーザーです。

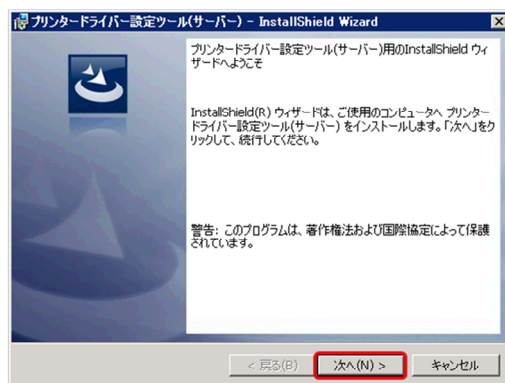
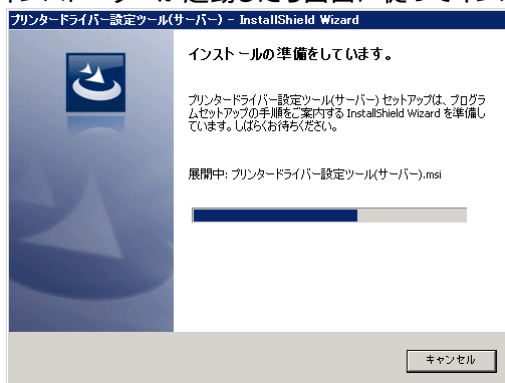
---

### 2.2.1 サーバーモジュールのインストール

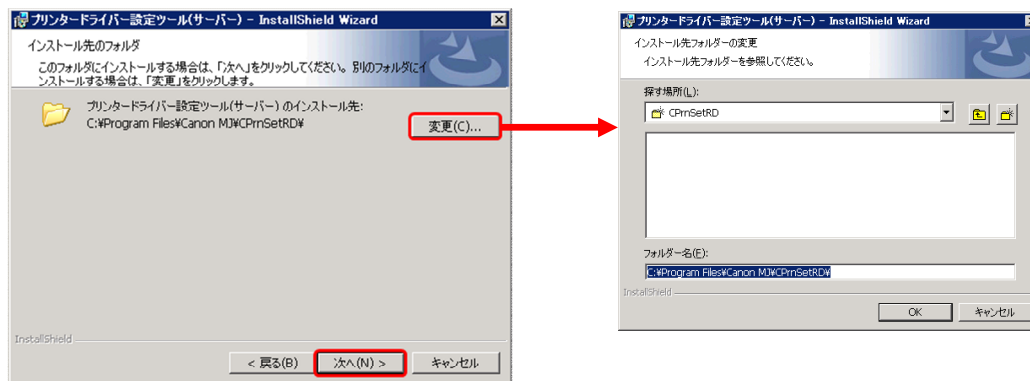
- (1) server フォルダ内の CPPrnSetRD\_SV\_setup.exe を実行します。



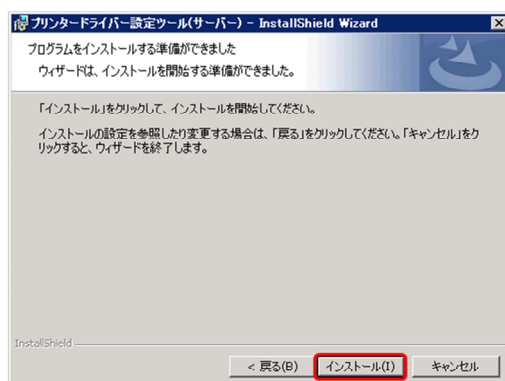
- (2) インストーラーが起動したら画面に従ってインストールを行います。



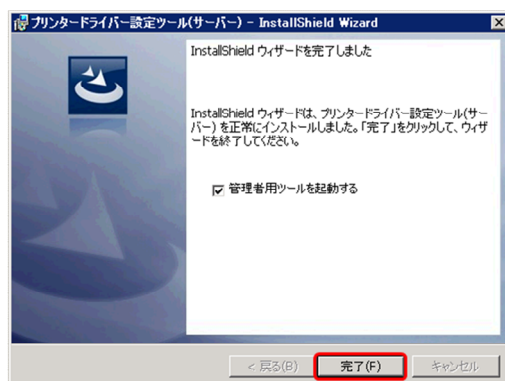
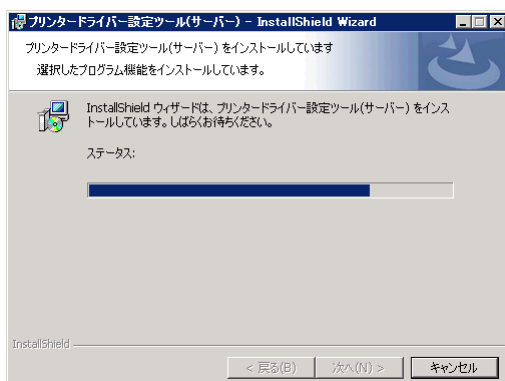
[次へ]ボタンをクリックします



インストール先を変更する場合は[変更]ボタンをクリックし表示されるダイアログでインストール先のフォルダを設定し[OK]ボタンをクリックします。  
インストール先のフォルダを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



[インストール]ボタンをクリックします。



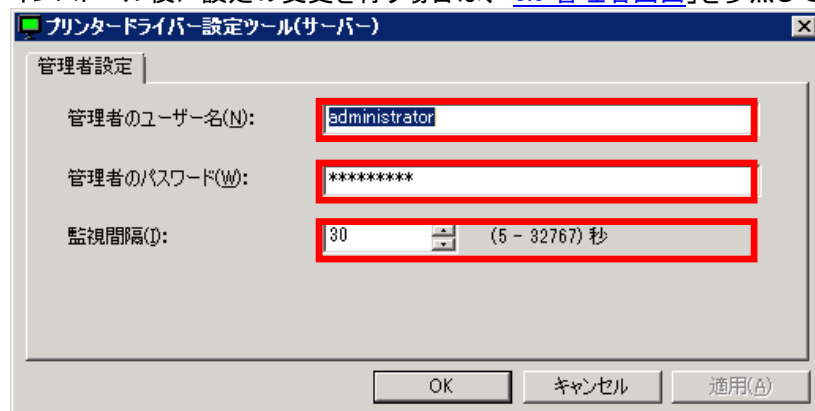
[管理者用ツールを起動する]チェックボックスにチェックが付いていることを確認して[完了]ボタンをクリックします。

(3) 続いて初期設定を行うため、管理者設定画面が表示されます。

ビルトイン Administrator ユーザーとパスワードおよび監視間隔を入力して[OK]ボタンをクリックします。設定しない場合は、リダイレクトプリンターに設定が反映されません。

監視間隔(初期値 30 秒)を変更したい場合は、監視間隔を入力してください。

- ※ 監視間隔とはサーバーのリダイレクトプリンターを監視する間隔です。監視間隔が短いほどクライアントのプリンター情報を早く情報を取得できる反面、CPU の負荷やログのサイズが大きくなります。
- ※ インストール後に設定の変更を行う場合は、「[3.5 管理者画面](#)」を参照して、設定してください。





(4) 以上でサーバーモジュールのインストール完了です。

プリンタードライバー設定ツール(サーバー)は、スタートアップに登録されます。インストール直後では起動しません。次のログオン時から自動起動します。

## 2.2.2 クライアントモジュールのインストール

クライアントモジュールは、OS のビット数に応じたインストーラーが用意されています。

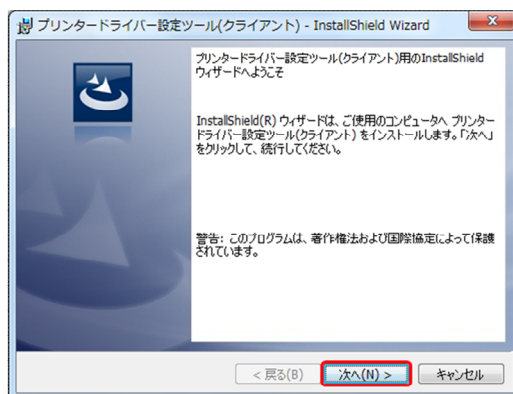
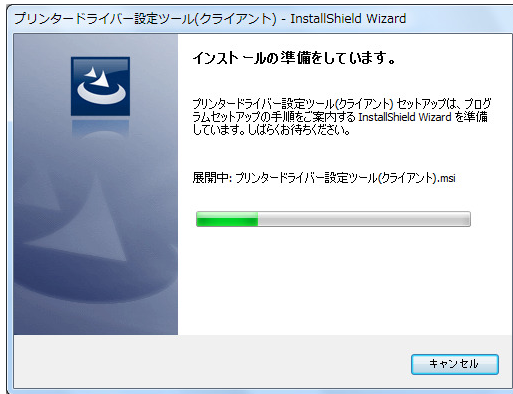
32bit OS :  CPPrnSetRD\_CL32\_setup.exe

64bit OS :  CPPrnSetRD\_CL\_setup.exe

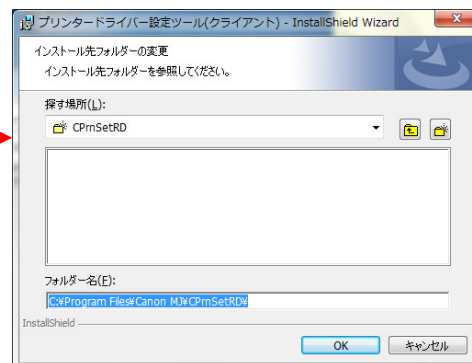
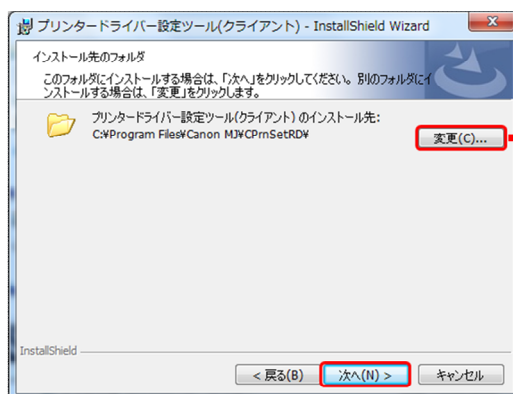
※ **ご使用される対象OSのビット数を、システムプロパティでご確認ください。**



(1) インストーラーを起動し、画面に従ってインストールを行います。

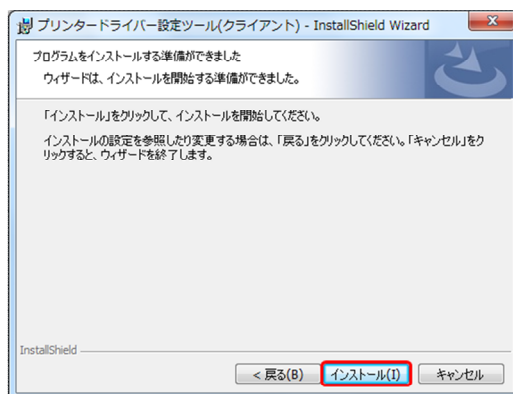


[次へ]ボタンをクリックします。

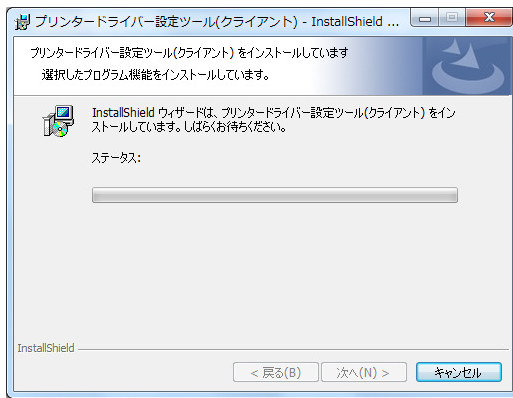


インストール先を変更する場合は[変更]ボタンをクリックし表示されるダイアログでインストール先のフォルダを設定し[OK]ボタンをクリックします。

インストール先のフォルダを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。

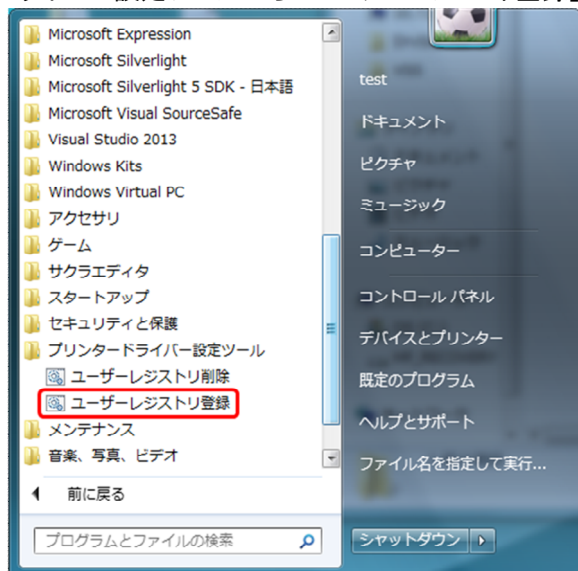


[インストール]ボタンをクリックします。



[完了]ボタンをクリックします。

- (2) 以上でクライアントモジュールのインストールは完了です。
- (3) インストールしたユーザー以外がはじめてお使いになる場合は、スタートメニュー>すべてのプログラム>プリンタードライバー設定ツールから「ユーザーレジストリ登録」を実行してください。



プリンタードライバー設定ツール(クライアント)は、リモートデスクトップ接続の起動時に、クライアントが自動起動します。



## 2.3 アンインストール

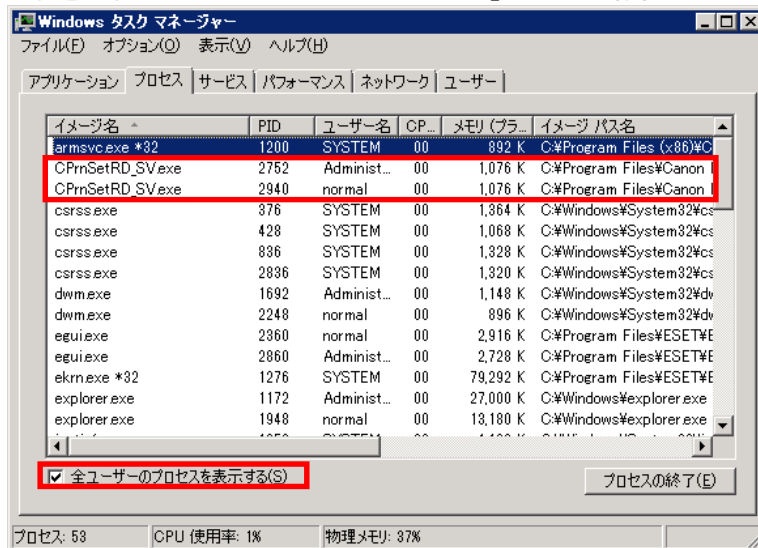
アンインストールはインストーラーを使用する方法とコントロールパネルの[プログラムと機能]から行う方法があります。

アンインストールは、管理者権限のあるユーザーで実行してください。

### 2.3.1 サーバモジュールのアンインストール

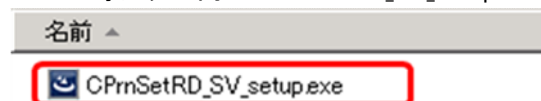
サーバモジュールをアンインストールするには、リモートデスクトップ接続しているクライアントが存在しない状態、もしくは本ツールのサーバモジュール(CPrnSetRD\_SV.exe)を終了した後で、実行してください。

サーバモジュールが起動しているかどうかは、タスクマネージャで「全ユーザのプロセスを表示する(S)」にチェックを入れた状態で、サーバモジュール(CPrnSetRD\_SV.exe)が存在しているかどうかで確認できます。

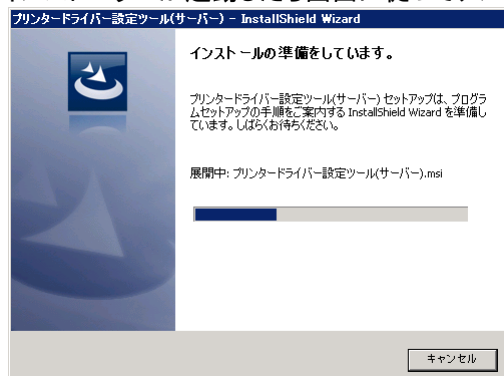


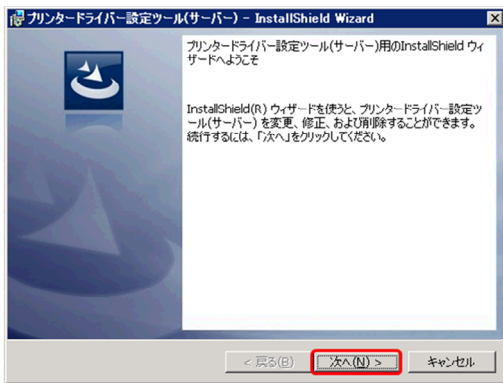
#### 2.3.1.1 インストーラーを使用する場合

- (1) server フォルダ内の CPrnSetRD\_SV\_setup.exe を実行します。

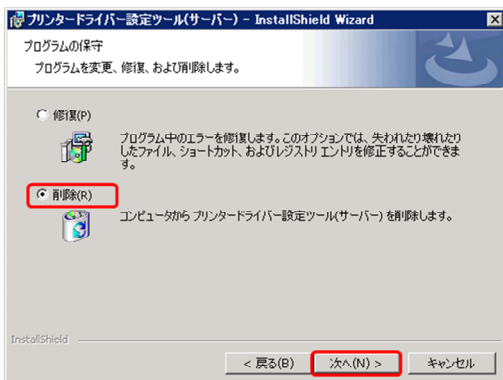


- (2) インストーラーが起動したら画面に従ってアンインストールを行います。

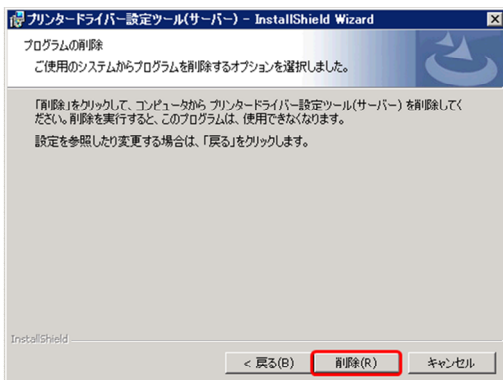




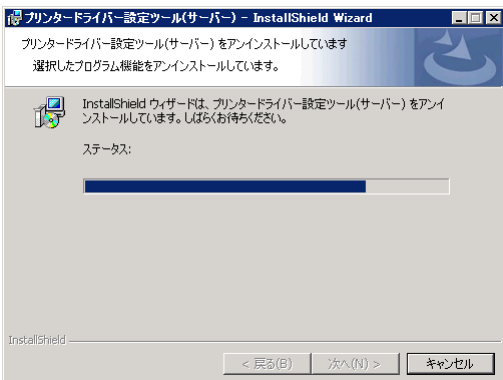
[次へ]ボタンをクリックします。

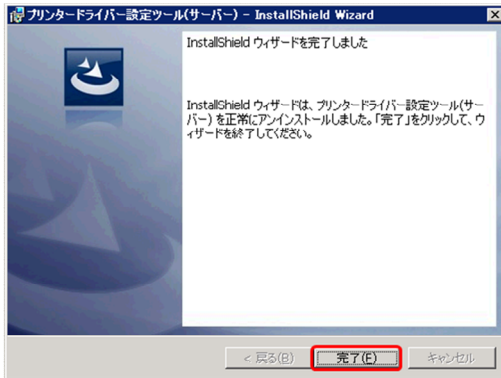


[削除]にチェックを付けて[次へ]ボタンをクリックします。



[削除]ボタンをクリックします。



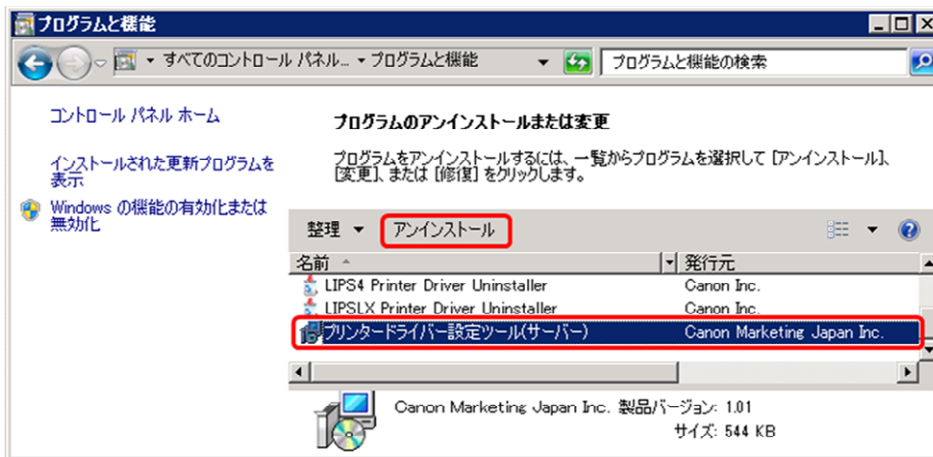


[完了]ボタンをクリックします。

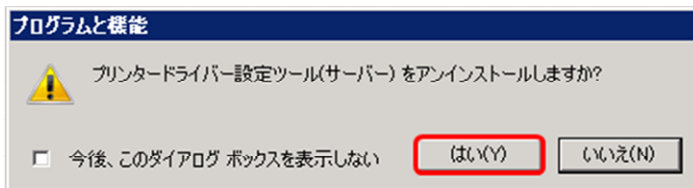
- (3) 以上でサーバーモジュールのアンインストール完了です。

### 2.3.1.2 プログラムと機能を使用する場合

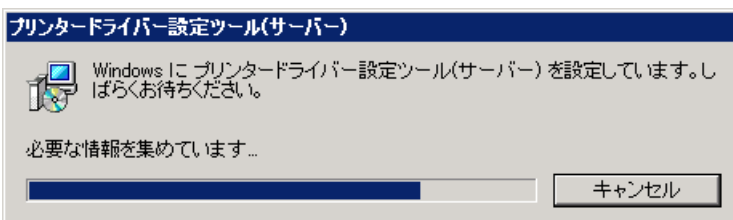
- (1) コントロールパネルの[プログラムと機能]からプリンタードライバー設定ツール(サーバー)をダブルクリックするか、プリンタードライバー設定ツール(サーバー)を選択した状態で[アンインストール]をクリックします。

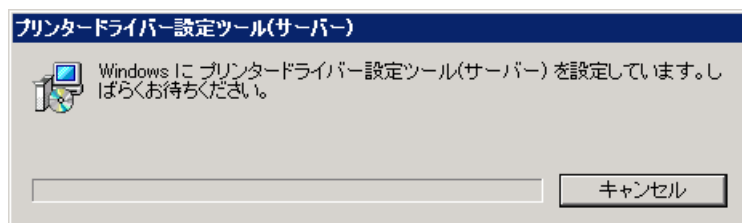


- (2) インストーラーが起動したら画面に従ってアンインストールを行います。



[はい]ボタンをクリックします。





(3) 以上でサーバーモジュールのアンインストール完了です。

## 2.3.2 クライアントモジュールのアンインストール

### 2.3.2.1 アンインストーラーを使用する場合

アンインストーラーは、インストール時に使用したインストーラーと同じモジュールです。既にクライアントモジュールがインストールされている環境でインストーラーを実行するとアンインストーラーとして動作します。

インストール時同様に、OS のビット数に応じたアンインストーラーを使用してください。

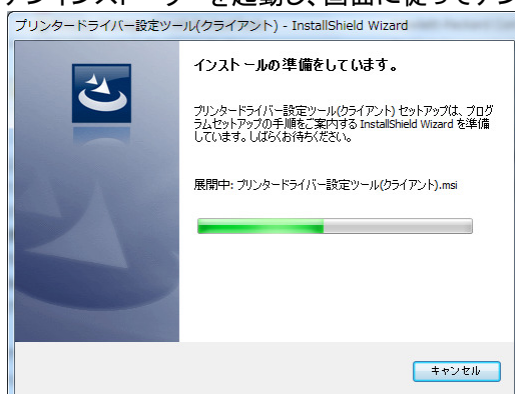
32bit OS : CPPrnSetRD\_CL32\_setup.exe

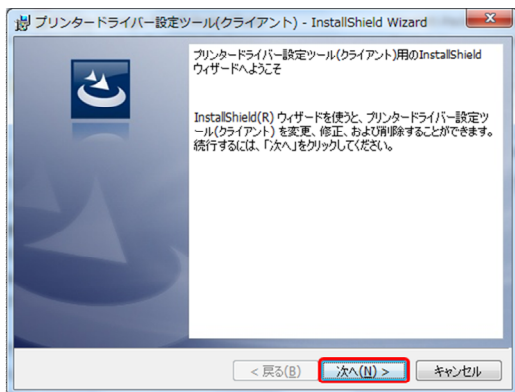
64bit OS : CPPrnSetRD\_CL\_setup.exe

※ ご使用される対象OSのビット数を、システムプロパティでご確認ください。

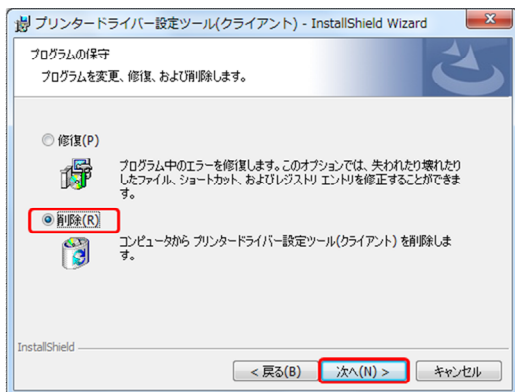


(1) アンインストーラーを起動し、画面に従ってアンインストールを行います。





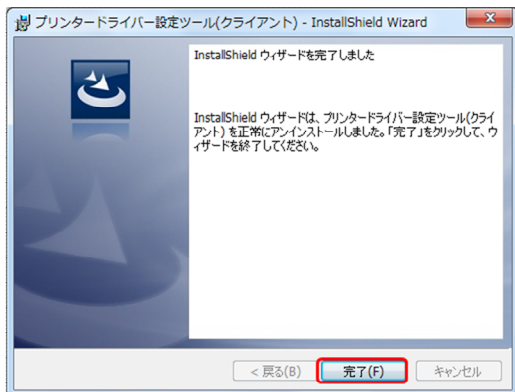
[次へ]ボタンをクリックします。



[削除]にチェックを付けて[次へ]ボタンをクリックします。



[削除]ボタンをクリックします。

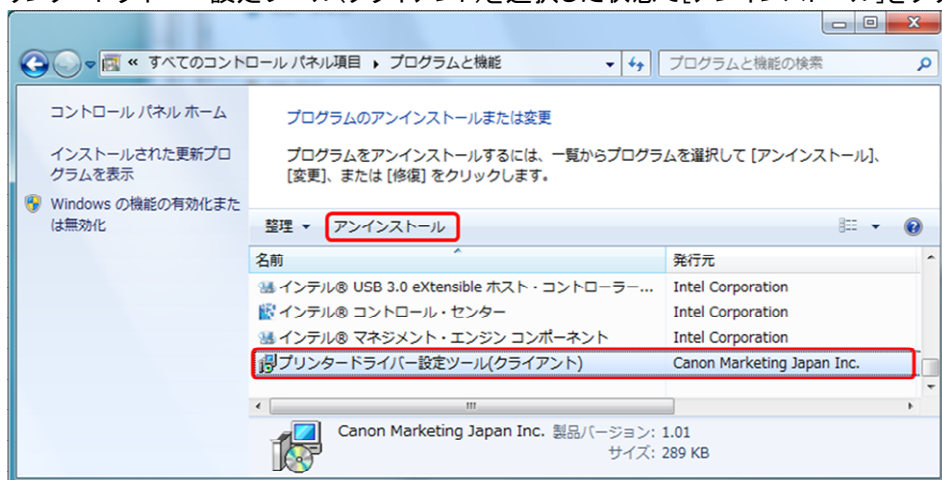


[完了]ボタンをクリックします。

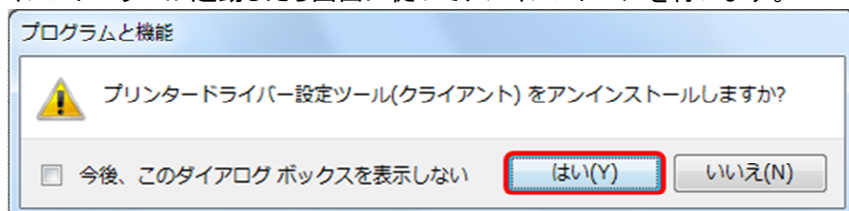
(2) 以上でクライアントモジュールのアンインストールは完了です。

### 2.3.2.2 プログラムと機能を使用する場合

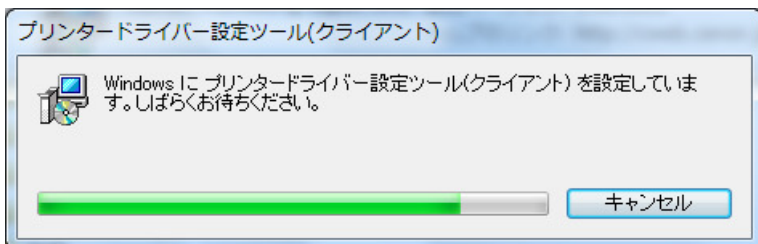
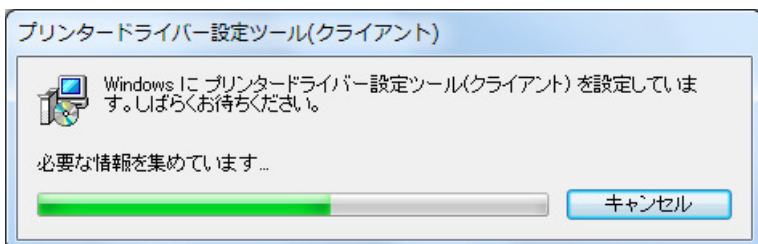
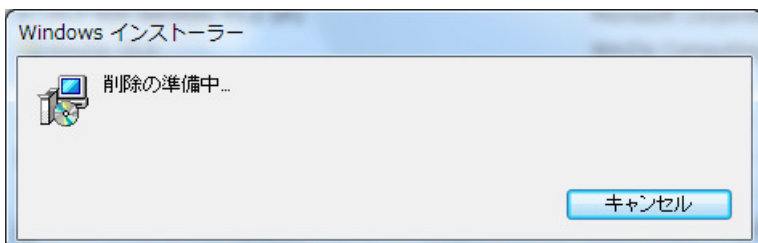
- (1) コントロールパネルの[プログラムと機能]からプリンタードライバー設定ツール(クライアント)をダブルクリックするか、プリンタードライバー設定ツール(クライアント)を選択した状態で[アンインストール]をクリックします。



- (2) インストーラーが起動したら画面に従ってアンインストールを行います。



[はい]ボタンをクリックします。



- (3) 以上でクライアントモジュールのアンインストール完了です。

## 3. 使用方法





---

プリンタードライバー設定ツールの使用方法と設定方法を説明します。

---

### 3.1 タスクトレイ アイコン

本ソフトウェアは、状態によりタスクトレイアイコンが遷移します。

状態	アイコン
起動中	
終了中	
待機中	
内部処理中 送受信中	

### 3.2 サーバーモジュールの起動・終了

#### (1) 起動

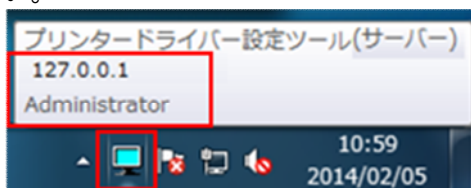
サーバーモジュールは、ログオンすると自動で起動します。

起動するとタスクトレイにアイコンが表示されるので、そのアイコンにマウスを合わせるとツールチップが表示されます。クライアントと接続していると、クライアントの IP アドレスとユーザー名の情報が表示されます。

#### (2) 終了

サーバーモジュールはログオフすると自動で終了します。

手動で終了するにはメニューから終了します。詳細は、「[3.4.3 サーバーモジュールの終了](#)」を参照してください。





---

### 3.3 クライアントモジュールの起動・終了

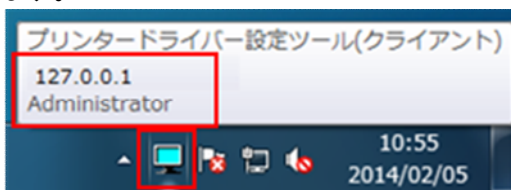
※インストールしたユーザー以外ではじめてお使いになる場合

本ツールをインストールしたユーザー以外ではじめてお使いになる場合は、スタートメニュー＞すべてのプログラム＞プリンタドライバ設定ツールから「ユーザーレジストリ登録」を実行してください。

#### (1) 起動

クライアントモジュールはリモートデスクトップ接続を起動すると自動で起動します。

タスクトレイにアイコンが表示されるので、そのアイコンにマウスを合わせるとツールチップが表示されます。サーバーに接続していると、サーバーの IP アドレスとサーバーにログインしているユーザー名の情報が表示されます。



#### (2) 終了

クライアントモジュールはリモートデスクトップ接続をログオフもしくは切断すると自動で終了します。

終了するとタスクトレイからアイコンが消えます。

---

### 3.4 メニュー

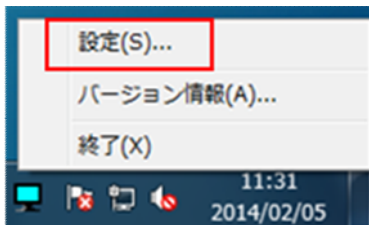
本ソフトウェアはメニューから設定、バージョン情報表示、終了の操作ができます。

---

#### 3.4.1 設定

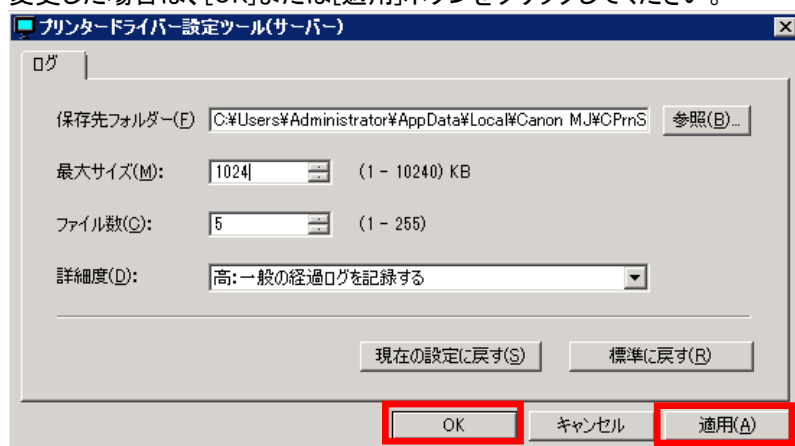
設定では、ログの設定を行うことができます。ログの保存先とファイルサイズなどを変更できます。

(1) アイコンをクリックするとメニューが表示されます。メニューから[設定]をクリックしてください。



(2) 以下の設定画面が表示されます。

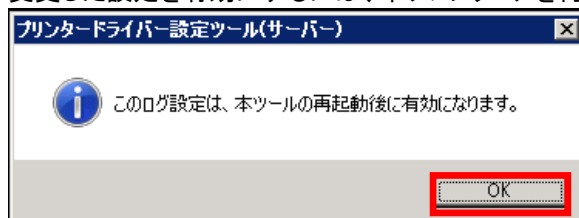
変更した場合は、[OK]または[適用]ボタンをクリックしてください。



No.	項目名	説明
1	保存先フォルダー(F)	ログファイルの保存先。初期値は、 “C:\Users¥[username]¥AppData¥Local¥Canon MJ¥CPnS¥Log”
2	最大サイズ(M)	ログファイルのファイルサイズの上限(1～10240)をキロバイト単位で設定します。 初期値は 1024 (KB)。
3	ファイル数(G)	ログファイルのバックアップ世代数(1～255)を設定します。 初期値は 5。
4	詳細度(D)	ログの出力レベルを設定します。 高: 一般の経過ログを記録する 中: 重要な経過ログを記録する 低: エラーなど、重大なログのみ記録する : ログを出力しない 初期値は高。
5	参照(B)...	フォルダー参照ダイアログを開きます。
6	現在の設定に戻す(S)	各項目を現在の設定に戻します。
7	標準に戻す(R)	各項目を標準の設定(初期値)に戻します。
8	OK	設定を保存して、設定画面を閉じます。
9	キャンセル	設定を保存せずに、設定画面を閉じます。
10	適用	設定を保存します。設定画面は閉じません。

(3) 設定を保存すると以下のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。

※ 変更した設定を有効にするには、本ソフトウェアを再起動する必要があります。



設定を有効にするための手順:

・サーバーモジュール

タスクトレイからプリンタードライバー設定ツールのアイコンをクリックし、「終了」をクリックすると終了します。  
[スタート]-[すべてのプログラム]-[スタートアップ]-[プリンタードライバー設定ツール(サーバー)]をクリックすると起動します。

または、リモートデスクトップ接続を終了し、再度接続します。

・クライアントモジュール

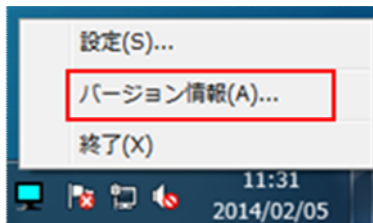
リモートデスクトップ接続を終了し、再度接続します。

### 3.4.2 バージョン情報

本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

サーバーとクライアントともに表示されるメニューです。表示される画面も同一の画面が表示されます。

- (1) アイコンをクリックするとメニューが表示されます。メニューから[バージョン情報]をクリックしてください。



- (2) 本ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。



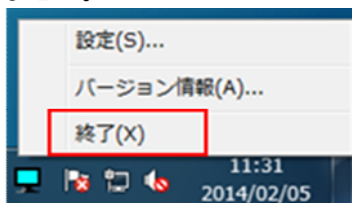
バージョン情報には、以下の情報が記載されています。

No.	項目名	説明
1	プリンタードライバー設定ツール(***)	ソフトウェア名が表示されます。 ※***には、“サーバー”または“クライアント”の文字列が表示されます。
2	Version ***	本ソフトウェアのバージョンが表示されます ※***は、お使いのモジュールのバージョンになります。
3	Copyright Canon Marketing Japan Inc.2014 All Rights Reserved	著作権情報が表示されます。
4	OK	バージョン情報画面を閉じます。

### 3.4.3 終了

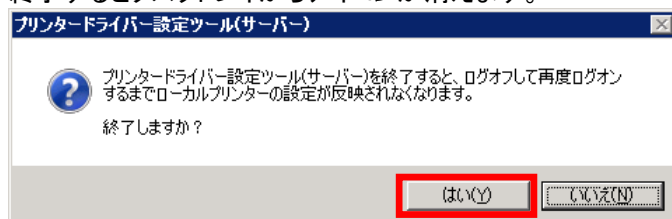
- (1) アイコンをクリックするとメニューが表示されます。メニューから[終了]をクリックしてください。

終了はサーバーモジュールのメニューにのみ表示されます。クライアントモジュールのメニューには、表示されません。



- (2) 終了確認メッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックして終了してください。

終了するとタスクトレイからアイコンが消えます。



## 3.5 管理者設定画面

管理者設定画面は、ビルトイン Administrator のユーザー名とパスワードおよび監視間隔の変更を行うためのもので、サーバーにのみ存在します。

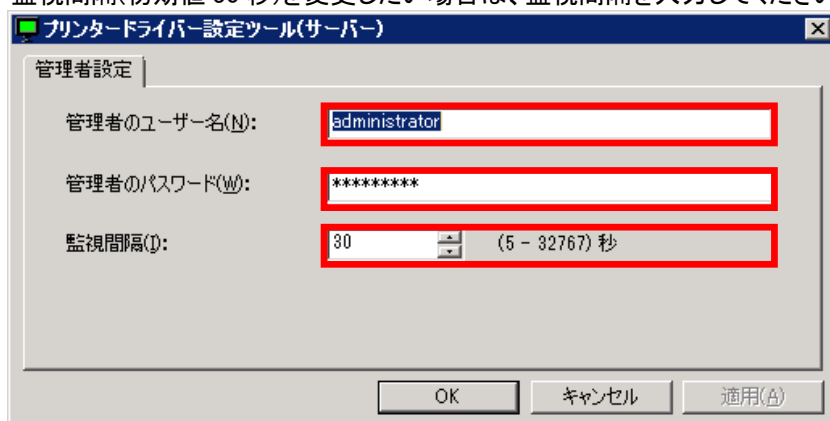
※ インストール時の設定を変更する場合は、この設定を行ってください。

- (1) スタートメニュー＞すべてのプログラム＞プリンタードライバー設定ツール＞「管理者用ツール」を実行してください。

- (2) 起動すると管理者設定画面が表示されます。

ビルトイン Administrator ユーザーとパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。設定しない場合は、本ソフトウェアが正常に動作しません。

監視間隔(初期値 30 秒)を変更したい場合は、監視間隔を入力してください。



No.	項目名	説明
1	管理者のユーザー名(N)	ビルトイン Administrator アカウントのユーザー名を設定してください。
2	管理者のパスワード(W)	ビルトイン Administrator アカウントのパスワードを設定してください。 入力されたパスワード文字列は“*”で置換して表示します。
3	監視間隔(I)	サーバーのリダイレクトプリンターを監視する間隔です。(5～32767) (単位は秒)。 初期値は 30 秒です。
4	OK	設定を保存して、設定画面を閉じます。
5	キャンセル	設定を保存せずに、設定画面を閉じます。
6	適用	設定を保存します。設定画面は閉じません。

## 4. 制限事項

---

### 4.1 ソフトウェアに関する制限事項

---

#### 4.1.1 プリンタードライバのバージョン

プリンタードライバのバージョンは、サーバー／クライアント間で以下の関係になっている必要があります。

サーバーのバージョン $\geq$ クライアントのバージョン
--------------------------------

例)

サーバーが Ver.20.90、クライアントが Ver.20.85 の場合は、設定の反映処理を行います。

サーバーが Ver.20.90、クライアントが Ver.21.00 の場合は、設定の反映処理を行いません。

但し、実際に印刷設定が反映されるか否かはプリンタードライバ自体の仕様に依存します。

「サーバーのバージョン  $>$  クライアントのバージョン」であっても、組み合わせによっては印刷設定が反映されない可能性があります。接続先のサーバーと接続元のクライアントでプリンタードライババージョンを同一にして運用することを強く推奨します。

---

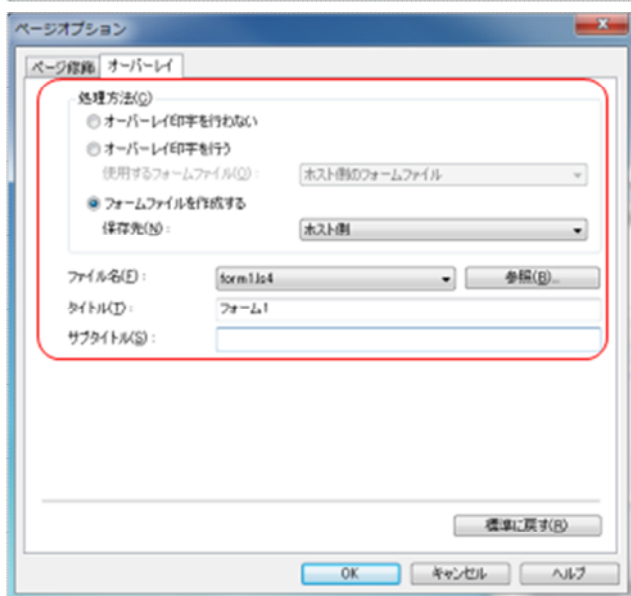
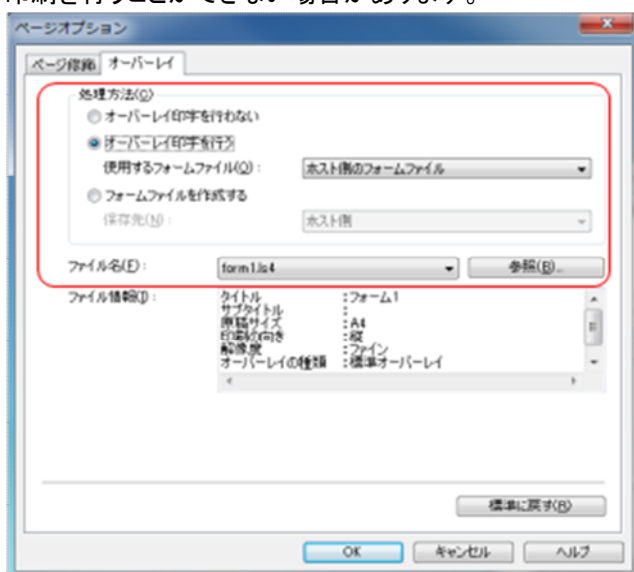
#### 4.1.2 セッションの再接続

本ソフトウェアの監視間隔内にリモートデスクトップ接続の再接続が行われた場合、プリンターの設定は反映されません。

## 4.2 プリンタードライバーに関する制限事項

### 4.2.1 オーバーレイ

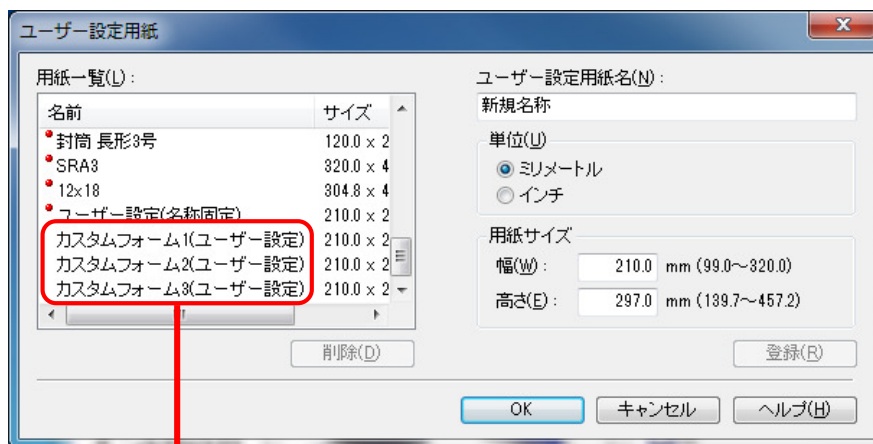
ページオプションのオーバーレイ機能に関しては、クライアントプリンターの設定をサーバー上のリダイレクトプリンターに対して正しく反映することができない場合があります。または、設定を反映しても正しくオーバーレイ印刷を行うことができない場合があります。



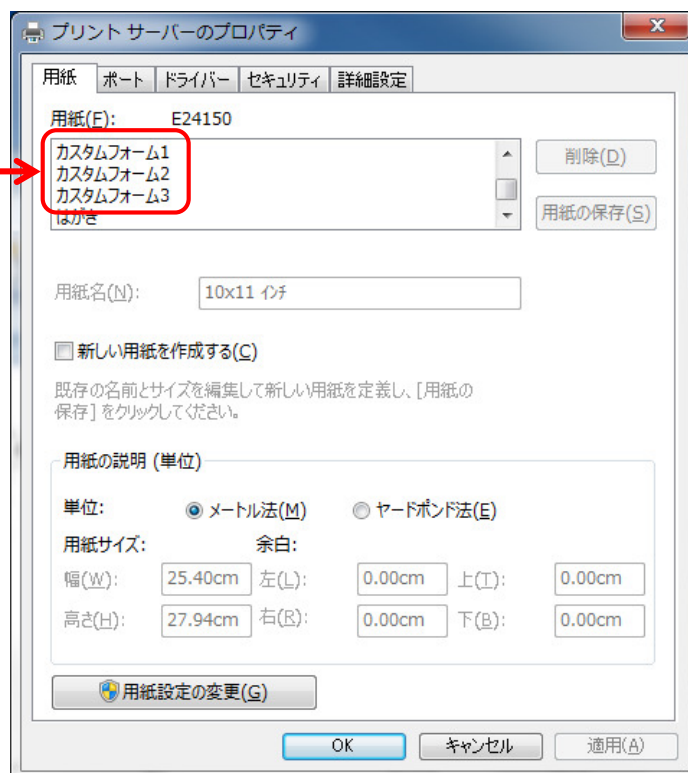
## 4.2.2 ユーザー設定用紙

プリンタードライバーの[ユーザー設定用紙]ダイアログにて登録した不定形用紙の情報は反映されない場合があります。

※ [ユーザー設定(名称固定)]は使用が可能です。

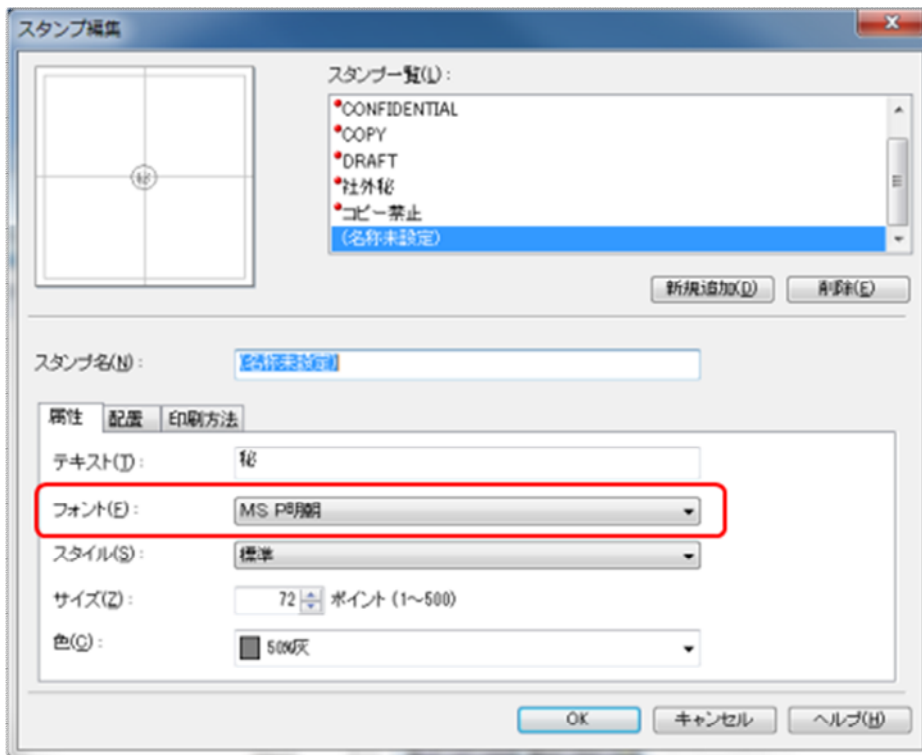


OS 側で情報を管理している



### 4.2.3 フォント

プリンタードライバーには、スタンプ、および、ページ修飾（日付／ユーザー名／ページ番号を印刷する機能）のフォントを設定する機能がありますが、反映されない場合があります。





## 5. ログ出力

本ソフトウェアでは、ログファイルを以下の形式のカンマ区切りテキスト(CSV)で出力します。

項目	説明
日付	yyyy/mm/dd 形式の日付
時刻	HH:MM:SS 形式の時刻
セッション ID	セッション ID
ログレベル	エラー／経過等のログのレベルを表す数値
区分	エラー／情報等のログの区分(種別)を表す文字列
メッセージ	ログメッセージ

### ● ログサンプル

```








2014/02/18,12:50:40,2,128,LogStart,.....,.....,.....
2014/02/18,12:50:15,2,255,W,WatchEnvProc,client disconnected
2014/02/18,12:50:15,2,64,,ClearAll,,clear printer list
2014/02/18,12:50:40,2,128,,OnNewClient,,new client is connected,C93752
2014/02/18,12:50:40,2,64,,OnNewClient,,IP 10.72.70.60
2014/02/18,12:50:40,2,64,,ConnectToLocalPC,,connect OK,HS 2174112
2014/02/18,12:50:40,2,64,>,WriteBuf,,lp 0000000002AF12F0,len 40
2014/02/18,12:50:40,2,64,<,WriteBuf,TRUE,write 40
2014/02/18,12:50:40,2,64,>,ReadBuf,,lp(000000000257E540)len(8)
2014/02/18,12:50:40,2,64,<,ReadBuf,TRUE,read 8
2014/02/18,12:50:40,2,64,>,ReadBuf,,lp(000000000207500)len(18)
2014/02/18,12:50:40,2,64,<,ReadBuf,TRUE,read 18
2014/02/18,12:50:40,2,64,,WriteAndReadRDP,,CMD(1),Done
2014/02/18,12:50:40,2,64,,OnConnect,,Initialize OK,Administrator
2014/02/18,12:50:40,2,128,,ConnectToLocalPC,,HS 2174112
2014/02/18,12:50:40,2,64,,GetClientVersion,HS 2174112
2014/02/18,12:50:40,2,64,>,WriteBuf,,lp 00000000026B12F0,len 8
2014/02/18,12:50:40,2,64,<,WriteBuf,TRUE,write 8
2014/02/18,12:50:40,2,64,>,ReadBuf,,lp(000000000257E370)len(8)
2014/02/18,12:50:40,2,64,<,ReadBuf,TRUE,read 8
2014/02/18,12:50:40,2,64,>,ReadBuf,,lp(00000000020CF20)len(50)
2014/02/18,12:50:40,2,64,<,ReadBuf,TRUE,read 50
2014/02/18,12:50:40,2,64,,WriteAndReadRDP,,CMD(2),Done
2014/02/18,12:50:40,2,64,,ClearAll,,clear printer list
2014/02/18,12:50:40,2,128,,DisconnectFromLocalPC,,HS 2174112
2014/02/18,12:50:46,2,128,,AddRedirectPrinter,,find new printer[0],Canon iR-ADV C5250/5255 LIPS(リダイレクト 2)
2014/02/18,12:50:46,2,128,>,ServerProc,
2014/02/18,12:50:46,2,128,,ServerProc,,(SV)Canon iR-ADV C5250/5255 LIPS(リダイレクト 2),(CL)Canon iR-ADV
C5250/5255 LIPS
2014/02/18,12:50:46,2,64,>,SetProperties,,Canon iR-ADV C5250/5255 LIPS(リダイレクト 2)
...省略


2014/02/18,12:50:46,2,128,,SetProperties,,Canon iR-ADV C5250/5255 LIPS(リダイレクト 2),COMPLETE
2014/02/18,12:50:46,2,64,<,SetProperties,,Canon iR-ADV C5250/5255 LIPS(リダイレクト 2)
2014/02/18,12:50:46,2,128,<,ServerProc,

```

## 6. メッセージ一覧

### 6.1 エラーメッセージ一覧

メッセージ概要	メッセージ文字列	アイコン	説明
初期化失敗	初期化エラーが発生しました。 プリンタードライバー設定ツール(***)は機能を停止します。 ※***には、サーバーまたはクライアントが表示されます。		初期化に失敗した場合に表示されるメッセージです。 本ソフトウェアを再起動してください。
続行不能異常発生	続行不能な異常が発生しました。 プリンタードライバー設定ツール(***)は機能を停止します。 ※***には、サーバーまたはクライアントが表示されます。		動作中に継続不能なエラーが発生した場合に表示されるメッセージです。 本ソフトウェアを再起動してください。
実行権限エラー発生	管理者権限のあるユーザーで実行してください。		管理者権限を持っていないユーザーで管理者用ツールが実行された場合に表示されるメッセージです。 管理者権限を持ったユーザーで実行してください。
管理者ユーザーチェックエラー	入力されたユーザー名/パスワードが、ビルトイン Administrator のものではありません。		管理者用ツールに入力されたビルトイン Administrator のユーザー名/パスワードが正しくない場合に表示されるメッセージです。正しいビルトイン Administrator のユーザー名/パスワードを入力してください。
設定画面多重起動	すでに設定画面が開かれています。 そちらで設定してください。		既に設定画面が表示されている場合に表示されるメッセージです。 メッセージに従い操作してください。
保存先フォルダー設定不正	フォルダーが存在しない、またはファイルを作成できません。 書き込み権限のあるフォルダーを指定してください。		設定画面の保存先フォルダーの設定が不正な場合に表示されるメッセージです。 メッセージに従い操作してください。
最大サイズ設定不正	最大サイズは、1～10240 で指定してください。		設定画面の最大サイズの設定が不正な場合に表示されるメッセージです。 メッセージに従い操作してください。

<p>ファイル数設定不正</p>	<p>ファイル数は、1～255 で指定してください。</p>		<p>設定画面のファイル数の設定が不正な場合に表示されるメッセージです。 メッセージに従い操作してください。</p>
------------------	--------------------------------	--	--

第 3 版: 2016 年 12 月 28 日

Copyright© Canon Marketing Japan Inc. 2016 All rights reserved.